昭和廿一年八月廿一日
（第三種郵便物認可）

いわき民報

發行所
いわき民報社
（電一八三四番）
平市新町一番地
人行發行兼印刷人
千葉輝己
日刊但月曜日を除く
定價一ケ月五円
一部十二錢

交通公社の設置決定

市と驛の共同運動が見事成功

開設場所は市の中央を物色

驛の混雜の防止と長距離旅行者の便利をはかるため、平市ではかねて平驛の協力を求めて、交通公社の出張所の開設方を申請、猛運動中だつたが、今度漸く開設に決定されたので、目下驛當局と協力開設場所の選定を急いでゐる、市並に驛では成るべく市の中央目貫の場所を選ぶべく物色してゐるが大体常陽銀行角を中心として設置の意向でゐる、場所の決定さへつけば即時開設されるとあるが、これが開設をみれば、旅行者にとつては頗る利便で、切符の入手等も頗る緩和される譯で大きな期待をかけて一日も早い開設を望まれてゐる、市當局では

驛長の非常な斡旋で漸く決定されたことは感謝に堪えない、長距離旅行者や切符入手の混雜も緩和されるばかりか、旅行に關する一切の手引もして貰へるので地方民にとつて大きな利益である

と語つてゐるが、成るべく九月一日に開設すべく目論んでゐる

開店
召上り物は精選
店内は氣分本位
さくら家花店
喫茶部
平警察署通り　平館角

平の野菜配給軌道へ

兩三日中に一人當五十匁程度へ

平青荷物荷受組合の荷受配給狀況は云る一日から十八日まで約八千貫、最近の一日平均量五百五十貫に達し市民一人當り平均二十匁配給に辛うじて達してゐる、平地方は炭礦、工場等の大消費地を控へ組合側では係員を生産地へ派し東奔西走、郡外からの援助も受けてゐる、現在のところ郡内五十%郡外十%程度だが二十二、三日頃から一日當り平均五十匁を目ざす荷受により一層拍車をかけることゝした

一方青果物も伊達方面より二千余貫入荷、りんご、桃等各家庭へお目見得したが、今后も努めて集荷に努力すると組合側では語つてゐる、尚同組合長國井氏は語る

配給品には希望しない品が隣分あると想ふ、これも現在としては望め難いことである、組合としては全力をつくして東奔西走、出來得る限り消費面で重要なものの集荷に當つてゐる、現在のところ一人當り平均二十匁程度ですが二十二三日頃から五十匁位までにしたいと想ふ、これから端境期もそろ〳〵近くなりますが各方面と協力して存分集荷に努めるつもりです

頭を痛める魚類配給

共販所で特配制度

平海産物共販所では公平な魚類の配給を期し、一般市民の非難を受けぬやう細心の注意を拂つてゐるが『目の屆かぬ場合が多いので量目の不正行爲など遠慮なく事實を申出てほしい』と不正配給根絶に市民の協力を要望してゐる

尚三一一號發令以來闇魚類が買つて欲しいとある

目覺しい自給製塩

市町村への配給も實施さる

昨年以來亂立した郡内の自給製鹽を統一して出發した石城郡自給製鹽組合聯合會では組合數も五十二を數へ（勿來十一、錦四植田一、泉一、小名濱七、江名五、豊間四、高久四、夏井一、草野二、大浦一、四倉十一）生産率も毎月上昇し四月三百八十噸、五月四百八十噸、六月五百五十噸、七月六百噸、八月中の生産は又又倍增の見込であるが一掃された結果、冠婚葬祭、會合などの場合、魚類入手の道を斷たれて困つてゐるところから、特別配給制度を設け冠婚葬祭、姙産婦、病人用の魚類を確保し、特需に應ずることになつた、配給券は市役所で給與すると

現在市内の配給所は十六ヶ所あり、魚類入荷量と照し合せ輪番制で配給してゐるが、數量が滿さぬ場合とか、一般配給に向かぬ品は三丁目丸一商店で自由販賣してゐるから、自由品は丸一で買つてほしいと

湯本町で初の野菜配給

統制十八日目で

八、一施風の余波は湯本町から野菜の姿を消さして十七日間に及んだが十八日初めてネギ、ナス等の配給が行はれ一人當六十錢の僅少ではあつたが公定で買へた町民の喜びは大きかつた、此の配給は行者と消費者の協同で行はれたもので農業會田村郡支部の好意に依つてトラックで運んで來たものとある尚地元生産地の泉村磐崎村では全然出荷せぬので今後三日置き位にしか配給は出來ないし數量も僅少で一寸生が悪くとも不平を言はず買つて欲しいとある

缺配は免れ得やう

平食營出張所からの見透し

米の配給はこゝ當分見込なし

富岡に於ける炭礦の勞務如配六十日の遲配や常磐地方も七月分殘數未配が傳へられて居る折柄十七、十八日の兩日八車からの玉蜀黍、小麥粉の入荷の報に營團の配給操作を視ると、現在郡内最高遲配は高久、内郷御厩の十二日、豊間の十一日、市内は比較的良く一週間位とある、十日分の豫定だつた米の配給は殘念乍ら盆用配給の一人二五〇グラムきりで八月中は後一回一人宛二五〇グラム位で見込薄であるが、六四トンの玉蜀黍、二〇トンの小麥、一五〇〇袋の小麥粉が順々入荷してをり、安積、田村、石川から入荷豫定の馬鈴薯一八万五千六百俵も既に五千俵入荷配給してゐる狀態で缺配の恐れはない、當地の精麥能率も百三十五俵消化出來るので、十月迄の精麥豫定一万三千八十俵が順調に供出されれば九月末から十月へかけての危機は切拔けられるが、現在の麥供出の狀態では不安なので二十日營團で協力委員會を召集供出を要請することになつてゐる、尚炭礦加配米は今入荷中の玉蜀黍で七月の殘ば配給が終り富岡の分も小麥二十噸郡山から輸送濟みで解決してゐる、お米の配給は當分見込はないが缺配しない事で我慢して戴きたいと語つてゐる

婚姻も夏枯

平市役所戸籍係の窓口を叩いた去る一日から十八日までの婚姻屆出は僅かに十一件、さすがに夏枯れ時を物語つてゐる、一ケ月平均三十余件とあるが七月も僅かに二十三件、明九月は四十件はありますよと係員のお託宣

一列車から米四石二斗

夥しい買出行一齊取締の收獲

中悪質者一名は遂に送局さる

平署では關係方面と協力、十四、五の兩日に引續いて十九日午前三時二分平着下り列車で乘車の荷物一齊檢査を行つた、乘客も深夜のことゝて狼狽、魚類百余貫を置き去りにするなど珍風景を描いた

總件數六十八件主食では▼米四石二斗▼麥七斗二升▼馬鈴薯五十五貫、うち▼米二石六斗▼麥五斗五升▼馬鈴薯三十五貫を買上げた、▼外に魚類百貫を買上げた、▼外この公價八十五貫三百六十匁に一萬六千五百二十九圓九錢、りんご五十貫などが目立つてゐる、買出人中の一名は悪質者として醬類とゝもに二十日送局した

衛生懇談會

平市では傳染病豫防の徹底を期するため十九日午前九時から公會堂日本間に衛生區長、保健婦等を召集、昆虫驅除實施を始め衛生及び豫防策について協議懇談を遂げた

稲熱病遂に發生

市から全農家に赤信號發す

平市の稲作作況は既報の如く平年作まで漕ぎつけたが、十八日頃から中平窪古舘地内約三反歩に稲熱病が發生、市農業會で躍起となり防除に努めてゐる

尚各地に發生の兆れありこれが防除に努められ度いと注意を促してゐる

蘭增産標語

入選作發表

農業振興會では養蘭業の使命の重大性を認識せしめると共に增産に拍車をかける一助にと國民學校兒童からかねて標語募集中だつたが十九日その入選者を左の如く發表した

▼一等　蘭だ生糸だ再建だ
（赤井第二國民學校猪狩敏正）

▼二等　蘭一つが世界を結ぶ
（飯野國民學校高一加藤德治）

昨日の食糧今日の蘭
（山田村國民學校高一飯泉正好）

日本の復興かいこから
（好間第一國民學校六年新城登美子）

▼三等　蘭は寶だ禍神だ
（川前國民學校五年戸部大助）

蘭の增産我等はふとる
（鹿島第二國民學校四年山口武）

小さい蘭から大きな輸入へ
（合同國民學校六年松崎惠美子）

此の蘭一つで危機突破
（赤井國民學校高一大和田善久）

まゆの增産同胞すくふ
（同六年鈴木透子）

はげめ增産日本をすくふ
（平第一校高一鈴木資子）

いわき寸言

▼交通公社の設置決定さる、最近の切符の入手難、その他からみると眞に便宜なことゝなる譯斯うした機關の招致には全市民協力を惜しまぬことが肝要

▼中平窪古舘に稲熱病發生す、水不足を漸く克服平年作並に漕ぎつけた折柄、病虫害の驅除豫防に萬全の注意こそ大切だ

▼各地に赤痢患者續發、萬全の警戒を怠るな

▼一列車から米四石二斗を始め夥しい收穫を示す買出行はどう取締つても絶えぬらしい、結局配給の圓滑化を期する外策はないものか

▼缺配だけは免れ得やうとの平食營の辯、遲配は辛抱して欲しいとある然し食ふものも持たぬものはどうするこの点を考へて貰ひたい

工員募集
穴明工
取付工
製鑵工
瓦斯切斷工
二十名
◆但し現場出張工事
平市鵜宮町一
程塚鐵工所
所長　程塚公

電話新設
一四三番
毎度有難うございます
湯本町上町
熊田自轉車店

高鋼板
劍スコップ
角スコップ
◇在庫豊富——格安大量注文に應す
平市田町一番地（電話三八一）
磐城物産株式會社

農村の都市に抱く感情は

郡内初の農民組合大會から

日本農民組合石城協議會では十七日組合結成後の經過報告を兼ねて農家の加税査定供出價格と都市工業製品との跛行に依る農家の生活破綻等を取上げて郡内初の農民大會を開いた、大會は八百板縣聯代表、小貫直税課長、高田經濟課長等出席郡内農民百數十名の參加の下に經過報告後の質疑應酬は午前九時から午后四時迄續けられたが、過去數十年來の虐げられた農民の意地は來るべき農家の經濟恐慌に早くも善後策を策し、都市對農村の相剋を豫想して金と物との保持に汲々とし、都會人の今苦しむのは數十年間一年一人千圓の借金に苦しみ抜いた俺達の、祖先代々からの苦みみに比べれば物の數でもない、當然の成行きではないかとはつきり都市と農村の行くべき道を辿べ都市經濟依存から農村經濟依存の實情を雄辯に物語つてゐる、だが果たして之で農民は救はれるか、日本は再建し得るか、農民組合は之を如何に指導して行くか、金と物で虐げられたが故に金と物で支配すると云ふ農民をどう引張つて行くか、茲に問題がある、今是非は別として農民の今持つてゐる心の奥を農民大會の聲から覗いて農民の行く道、都市の行く道、日本の行く道の檢討資料として見る

野良の人形扱ひ不可

――都會は農村を搾取し過ぎた甘言よりも先づ自己反省を

【農民A】地方事務所を初め諸官廳に於ては現在の農村に於ける物と金のダブツキを非常に强調して税金其の他に農村への負擔を非常に高率にかけて居る、成程現在農村に落ちてゐる金は尠なくない、然し之は一時的のものであつて且つ一部のものみであつて必らずしも農家全部ではない、敗戰後に於ける變形的現象に過ぎない、それよりも現在の農家の生産價格と都市に於ける工業製品の跛行性を如何見るか、高騰する諸物價の基準として米や薯や野菜を抑へる事は首肯出來るとしてもそれなら何故農家の生産に必要缺くべからざる農具、肥料等を何故抑へないか、一俵千五百圓もする魚粕や、米五升、米一俵半でなければ取換えない農具を自轉車を我々はどうやつて買つて行かねばならないか、供出の出し渋りを云々する前に代替供出に、馬鈴薯を出しすぎると云ふ前に何故農民はそうするかを考へて欲しい、我々は余りにも惨めに扱はれ過ぎた、臭い物に蓋の者にいぢめられ過ぎた、臭いから傍へ寄るなとかアツポ擔ぎと輕蔑され奴隷の生活を當り前と思はれて來た、そしてこう云ふ時世になると今度は神様扱ひにされてどうぞ御供出をと甘い言葉でおだてられてゐる、我々はノラの人形ではない、表でおだてられ蔭でしめられる惡どいやり方を是正して欲しい、農村物價を引上げるか、都市製品を抑へるか、道は一つだ

税務當局は闇を助長

不當な課税標準

【農民B】さきに發表された農家の税金の計算に依ると、一反歩に於ける野菜作りは一萬圓以上に計算されて居る、税務署の意向に依ると供出殘の數量は全て時價闇相場で計算され、當局の指令として致し方ないと云はれるが、假に五十俵の馬鈴薯の生産に對して三十俵の供出割當があり、十俵を自家保有として殘り十俵の行方に對して租税の對象として一率に闇價格で査定してゐるが、勿論A氏の云はれた樣に一俵千五百圓の肥料や物交で農具を買はねばならない現在では一部の横流しは必然的に生じて來る、だがそれ等は全農家ではない、眞面目に供出して殘りを知人其の他に公價で譲つてゐる正直な者達はどうする、相互扶助の眞面目な氣持でやつてゐる者達は如何考へる、闇で賣らなくても闇計算で査定されるなら眞面目に賣るなんて馬鹿

良い品を安く仕入て安く賣りませう

安値自信　百貨卸賣　平市六丁目大通　さかいや商店

お買物は皆様の

化粧品、固型洗劑、京人形、甘味料、小間物、各種雜貨　▽樂器部新設△

平四丁目　電二六八　やまよし

開放

投書を歓迎す　要望批判結構　紙上匿名可

市衛生課へ

▼…さきに傳染病豫防週間には塵箱の統計や用水桶の調査等、手近な衛生設備の具体的基礎調査として期待されたが、今又赤痢豫防對策に呼應して十萬余圓の費用を經常して細部は常置の衛生員まで設ける事になつた由

▼…所謂何々週間、何々豫防對策、趣旨は眞に結構であり、機構は誠に立派なものであるが殘念な事には實情に即しない、試みに傳染病豫防對策として調査した筈の塵箱や用水桶は其後どう改良されたか、何處の區の塵箱に蓋が皆つけられる樣になつたか？用水桶の水は一杯入つてゐる樣になつただらうか？一体調査の目的は何だらう

▼…腐敗した塵挨に密集する蠅の媒介驅除であり、換水しない用水桶の尠ない水の中に發生するボーフラ其の他の昆虫の發生の防止のためではなかつたか、原因を追究するだけで臨路を除去し打開しない調査なら一日でも一時間でも民主化の實績をあげて聯合國に祖國再建を約束せねばならない今日無駄も甚だしい

▼…この筆法で行けば二段論かしい、税務署が闇を助長する手段を取るなら來年からは、いや明日から自分達は最早公價では賣らない、そう云ふ氣持になるのは當然じゃないか、政府の方針と云ひ縣の指令と云ひ一般國民大衆の生活の保證と幸福のためである筈だ、闇の助長に依る生活の安定を誰が保證し得るやう

傳染病豫防はに

平署から配布トツレフーリ

郡下草野及び三坂兩村に發生した集團赤痢は厚報の如く兩村とも益々蔓延の兆があり、平署では躍起となつて防疫陣を動員、萬全を期してゐるが、他町村にも患者が發生の傾向にあるため管内全町村にリーフレツトを配布し全郡民に赤信號を發してゐる

【注意事項】

▼食物の調理前、食事前、用便後は必ず手を洗ふこと▼便所に消毒藥を入れた手洗器を備ふるか流出裝置の手洗器を備ふること▼飲食器具、飲食物に蠅の止まらぬ樣適當覆蓋をなし、又は清潔なる布片にて掩ふこと▼蠅の驅除に努めること▼腐敗物は家屋周圍より取除くこと▼塵所は常に清潔を保持し特に下水の清掃に努める▼魚介類は必ず煮焼して喰ふこと▼生水は成可く飲まぬこと▼腹冷えせざるやう注意のこと▼豫防注射は速かに受けること▼河川にて食器、野菜、果實その他食物等は洗はぬこと▼下痢者は醫師の診察を受け傳染病の疑ひある場合は消毒に留意のこと

▼傳染病患者の疑ひある家には見舞その他の用件にての出入を遠慮すること▼傳染病患者又は其の疑ひあるもの自宅は共同便所、共同井戸の消毒をなす方途を講ずること▼下痢患者は共同浴場に入らしめざること

▼寄宿舍、合宿所等に於ける賄從業人は毎月一回必ず檢便を受けること▼從業人は飲食物調理前、用便后の手洗等は殊に嚴重を要し調理場には蠅、昆虫の侵入を防ぎ常に清潔を保持すること▼下痢患者發生の場合は特に患者專用便所を設け手洗には消毒藥を用ふること

生活と文化

てがみ

石野て

今日もあの方からのお手紙はなかつた。毎日〳〵今日こそはと胸を秘かにとゞろかせながら合宿所の廊下を歸つて來ておのランチの中から紳白さを失つた泥まみれの繃帶を右脚にしたあの方が上陸したのです。身体の御不自由な方には充分補助をしてあげて下さいと言はれるまでもなく私はあの方のお傍に馳せ寄りました。

――本當に御苦勞さまでした。――といつてあの方のさあどうぞ――といつてあの方の右側に寄りそひました。汗ぐさい戰塵の臭氣がプンと鼻をつきました。然し私は心からの同情と尊敬の心を以て病棟まで付添ひました。あの方は私が同郷のしかも隣組同志だつた事を知つてゐる筈はありません。學校を卒へるとすぐ大阪の貿易會社に入り出征までずーつと大阪生活をされてゐたのでした。時折休暇でお歸りになられた時も垣根越にそつとお目にかゝつた位ひでしたから。あの方は入院と決定しました。そして偶然にも亦私の受持病棟なのです。私はもうぢつとして居られなくなり入院後三日程たつた月の美しい夜にあの方に打明ける事にしました。あの方はびつくりされました。そして

――上陸した時も確かあなたが――と言ひかけるのを最後まで言はせずに――えゝ、私でございました――と申上げました。

偶然を豫期しながらも外面は冷靜にして病棟を出ました。最後に

三段論か知らないが十萬余圓を計上した豫算の使途に衛生思想の向上も、衛生施設の完備も、豫防衛生の徹底も大した期待が出來ない事になる、甚だ遺憾な事であると思ふ、それよりも十萬圓の費用は尠ない位だがその十分の一でも良いから大きな防疫班や調査等よりも實際的な衛生設備として市内に共同便所の設置を要望して止まない

▼…市内目抜の本町通りの空地への小便、脱糞の山、大平市建設の目標に對して余りに惨めな現狀ではないか、筆者の目撃した時等は二十歳前後の妙齢なそして戰國の惨めさと馳緩した國民の無智を、通り一遍の對策の無力を痛感した事はなかつた

▼…其處で市長さんにお願ひする、幾何市民に衛生思想や防疫の觀念を大にして叫んでも手近に實行出來る樣に仕向けてやらなくては何んにもならない、百の說法屁一つである、宣敷く官僚的殘滓たる機構や係のみ數多く作らないで、實情に即した手近な實際問題から市民を指導して戴きたい（鄉土を愛する者）

た揚句であらうが陽のかんかんいました――と申上げました。あの方は入院一ケ月余で地方の病院に移されました。そして私は毎日あの方からのお手紙を待つて居ます。幼馴染のあの方に戀とやら云ふものをしてはいけないのでせうか？今夜もあの方に始めてお話をした夜の樣に美しいお月樣が出てゐます。あの方もきつとこの月をみてゐる事でせう私は何んだか明日こそあの方からの懐しいお手紙を戴ける樣な氣がしてなりません。

シロハナミカゲイシ　白花岡石　板石各種

建築用　土木用

間知石　一五　一二　相當數ナリ

右御注文ニ應ズ

田村郡瀧根町神俣驛前　白石事業部

連絡事務所　白石源一

電話瀧根局

カメラ　高價買入マス　◇現像◇　◇燒付◇　◇引伸◇

平市三丁目　茂木カメラ店

粘土瓦の　御用と工事請負

營業案内

塗料　油脂　自動車

木工塗料

『特ニス』特約店

福島縣屋根工事株式會社

石城出張所

古川興業有限會社

平市南町四